

\*当リリースは、9月15日にフォルシアがフランスで発表した英文リリースの抄訳です

2022年9月26日

## フォルシア、ユーロネクスト CAC 40 ESG®指数の構成銘柄に採用

世界第7位の自動車部品サプライヤーであるフォルヴィア（FORVIA）グループ傘下のフォルシア（Faurecia）は、ユーロネクスト CAC 40 ESG®指数の構成銘柄に組み入れられたことを発表します。この指数は、CAC® Large 60 指数の構成企業のうち、環境・社会・ガバナンス（ESG）の実践が最も優れた40社で構成されています。組み入れは2022年9月19日（月）付で適用されます。

CAC40 ESG®指数は、フランスのSRI（社会的投資責任）ラベルと国連グローバル・コンパクトの原則に従い、経営実績の評価とESGの影響を組み合わせたものです。

フォルヴィアは、より持続可能なモビリティの実現に取り組み、それを支える技術を開発しています。2045年までに二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量をネットゼロ（実質ゼロ）にするという当社の戦略は行動に反映されており、最も厳格で難易度の高い環境認証機関の一つ「SBTi イニシアチブ（SBTi：科学的根拠に基づく排出削減目標）」から、自動車関連企業として初めてこれらの目標が承認されています。

### フォルシア最高経営責任者（CEO）、パトリック・コラーのコメント：

「事業の成長と環境問題を両立させることは、当社の重要な課題の一つです。世界は急速に進化しており、当社は自動車関連企業として、開発する技術や社会的・環境的な選択を通じ、重要な役割を担っていると考えています。フォルヴィア内で2045年までにネットゼロ達成という野心的な目標を設定しました。これは、自動車業界における当社のリーダーシップを裏付けており、SBTiの認証に続いてユーロネクスト CAC 40 ESG®指数にフォルシアが採用されたことは、間違いなく、当社が正しい方向に進んでいることを示すさらに大きなしるしです」

11月4日、フォルヴィアは「第1回サステナビリティ・デー」をレ・ドック・ド・パリ（オーベルピリエ）で開催します。当日は、当グループのサステナビリティ・ロードマップや詳細な行動を初めてご紹介します。2045年までにネットゼロというフォルヴィアの野心的な目標達成に道を開く注目の技術や持続可能なプロジェクトについて、当グループのパートナーや顧客に知っていただく機会になります。

## フォルシアについて

フォルヴィアグループ傘下のフォルシアは、グローバル・オートモティブ・テクノロジー・リーダーです。世界 33 カ国に 257 の事業所と 39 の開発拠点をもち、11 万人の従業員を擁しています。自動車用シート、インテリア、クラリオンエレクトロニクス、そしてクリーンモビリティの 4 つの事業分野を通じて事業を展開しています。2021 年度のグループ売上高は 156 億ユーロでした。フォルシアはユーロネクスト・パリ証券取引所に上場し、CAC NEXT 20 構成銘柄に名を連ねています。[www.faurecia.com](http://www.faurecia.com)

## フォルヴィアについて

世界第 7 位の自動車技術プレイヤー、フォルヴィアは、フォルシアとヘラーの技術および生産上の強みを補完し合うことで構成されています。世界 40 カ国以上に 300 以上の工場と 66 の R&D センターをもち、35,000 人以上のエンジニアを含む 15 万人の従業員を擁するフォルヴィアは、現在および将来の自動車産業の課題に対して独自の包括的なアプローチを提供しています。6 つのビジネスグループと 24 の製品ラインで構成され、世界中のカーメーカーから一番に選ばれるイノベーションおよび統合パートナーになることに注力しています。安全で、サステナブルで、先進的で、カスタマイズされたモビリティのソリューションを提供します。フォルヴィアは、モビリティの変革を予見し、実現することを約束するチェンジメーカーとなることをめざしています。[www.forvia.com](http://www.forvia.com)